

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年10月31日

株式会社 ドウシシャ 上場会社名

上場取引所 東

コード番号 7483 URL https://www.doshisha.co.jp

(役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO 代表者

(氏名) 野村 正幸

問合せ先責任者 (役職名)

取締役 兼 常務執行役員(財務経 (氏名)松本 崇裕 TEL 06-6121-5669

半期報告書提出予定日

2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月3日

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

2,206百万円 (△48.1%)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主に 中間純和	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	58, 982	8. 2	6, 143	46. 9	6, 311	46. 0	4, 309	49. 4
2025年3月期中間期	54, 508	5. 1	4, 182	△2. 0	4, 322	△1.4	2, 884	△1.6

(注)包括利益 2026年3月期中間期 4,650百万円 (110.8%) 2025年3月期中間期

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	122. 15	121. 37
2025年3月期中間期	84. 01	83. 08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2026年3月期中間期	106, 335	92, 956	85. 8	2, 573. 45
2025年3月期	102, 066	89, 239	85. 8	2, 495. 53

91, 270百万円 (参考)自己資本 2026年3月期中間期 2025年3月期 87,541百万円

2. 配当の状況

- Ho-1-7-7/70								
		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円銭	円銭			
2025年3月期	_	40. 00	_	45. 00	85. 00			
2026年3月期	_	50. 00						
2026年3月期(予想)			_	50.00	100.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株芸	主に帰属 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120, 000	5. 3	10, 800	20. 1	11, 100	18. 7	7, 600	18. 6	214. 90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 有 新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 仁弘倉庫シンセン有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	37, 375, 636株	2025年3月期	37, 375, 636株
2026年3月期中間期	1, 909, 608株	2025年3月期	2, 296, 426株
2026年3月期中間期	35, 279, 705株	2025年3月期中間期	34, 332, 806株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1 .	経'	営成績等の概況	2
	(1))当中間期の経営成績の概況	2
	(2))当中間期の財政状態の概況	3
	(3)) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	中	間連結財務諸表及び主な注記	4
	(1))中間連結貸借対照表	4
	(2))中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
		中間連結損益計算書	6
		中間連結包括利益計算書	7
	(3))中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4))中間連結財務諸表に関する注記事項	10
		(継続企業の前提に関する注記)	10
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
		(ヤグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く一方、食料品や日用品の値上げなど物価上昇が続き、実質購買力の低下から消費者の節約志向が一段と強まるなど、個人消費は力強さを欠く状況となっております。加えて、米国の政策動向や中国経済の減速、各地での地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが身をおく流通業界においても、原材料費や物流費をはじめとする各種コストの上昇が続くなか、 価格転嫁や販売効率化の取り組みが求められる厳しい経営環境が継続しております。さらに、天候不順や消費者の 生活防衛意識の高まりによる需要変動など、事業運営には引き続き柔軟な対応が必要な状況となっております。

このような状況下、当社グループは、2026年3月期の経営方針として掲げる「100年経営・経常利益100億円の達成」の実現に向け、各種施策に取り組んでおります。

その結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高58,982百万円(前年同期比108.2%)、売上総利益18,042百万円(前年同期比114.6%)、営業利益6,143百万円(前年同期比146.9%)、経常利益6,311百万円(前年同期比146.0%)、親会社株主に帰属する中間純利益4,309百万円(前年同期比149.4%)となり、増収増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

家電関連では、数多くのメディアに取り上げられた健康家電「ゴリラのひとつかみ」をはじめとする「ゴリラのハイパワー」シリーズのラインアップ拡充などにより引き続き販売が好調となりました。また、家庭用品関連でも、米国キッチンブランド「CORELLE (コレール)」初となるフライパンシリーズや「ゴリラのハイパワー」シリーズのスピンオフ企画である「ゴリラのひとつまみ(軽量のフライパン)」の新規販売に加え、ニッチNo.1を目指す独自性の高い商品として、底を外して洗える水筒「SOKOMO (ソコモ)」などの展開により、販売が伸長しました。

その他、AVライティング関連ではORION(オリオン)ブランドのスマートテレビやチューナーレステレビ、サーキュレーターとLEDライトを融合させた「CIRCULIGHT(サーキュライト)」の販売が伸長しました。

食品・酒類関連では、小売店のPB商品や菓子類、均一価格ショップ向け関連ではニーズに合わせた商品の開発・改廃を推進した結果、販売が順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は34,126百万円(前年同期比115.3%)、セグメント利益4,129百万円(前年同期比175.9%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

NB加工では、ギフト関連が中元・歳暮などのフォーマルギフト市場だけに留まらず、多様なニーズに向けて取り組むカジュアルギフトやブランドスイーツ事業の深耕など、新たなビジネスの育成にも注力したことにより、販売が伸長しました。

有名ブランドでは、バッグ関連のカジュアルブランドや、「SUUNTO(スント)」「fitbit(フィットビット)」などのウェアラブルウォッチを含む時計・ブランドジュエリー関連の販売は、前年同期と同水準で推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は23,559百万円(前年同期比101.3%)、セグメント利益1,999百万円(前年同期比104.9%)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は85,256百万円となり、前連結会計年度末(80,665百万円)に比べ 4,591百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金3,544百万円、商品及び製品1,124百万円、電子記録債権338百万円、その他213百万円の増加及び受取手形176百万円、売掛金454百万円の減少によるものであります。

固定資産は21,078百万円となり、前連結会計年度末(21,401百万円)に比べ323百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券86百万円の増加及び建物及び構築物(純額)157百万円、無形固定資産31百万円、繰延税金資産158百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、106,335百万円となり、前連結会計年度末(102,066百万円)に比べ4,268百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は12,446百万円となり、前連結会計年度末(11,868百万円)に比べ578百万円増加いたしました。これは主に、買掛金448百万円、未払法人税等231百万円の増加及び、その他90百万円の減少によるものであります。

固定負債は931百万円となり、前連結会計年度末(959百万円)に比べ27百万円減少いたしました。これは主に、 退職給付に係る負債2百万円の増加及びその他29百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は92,956百万円となり、前連結会計年度末(89,239百万円)に比べ3,717百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益4,309百万円、資本剰余金106百万円、自己株式610百万円、その他有価証券評価差額金159百万円、繰延ヘッジ損益154百万円の増加及び剰余金の配当1,578百万円、為替換算調整勘定25百万円、新株予約権71百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、85.8%(前連結会計年度は85.8%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は43,361百万円となり、前連結会計年度末より1,455百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は4,448百万円(前年同期は3,995百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益6,315百万円、減価償却費307百万円、売上債権の減少額294百万円、仕入債務の増加額447百万円、その他の流動負債の増加額190百万円による増加及び棚卸資産の増加額1,122百万円、未払消費税等の減少額173百万円、その他の流動資産の増加額52百万円、法人税等の支払額1,709百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は4,879百万円(前年同期は1,094百万円の増加)となりました。これは主に、関係会社の整理による収入160百万円による増加及び定期預金の預入による支出5,000百万円、有形固定資産の取得による支出12百万円、無形固定資産の取得による支出13百万円、投資有価証券の取得による支出11百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は985百万円(前年同期は6,994百万円の減少)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入645百万円による増加及びリース債務の返済による支出52百万円、配当金の支払額1,577百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績を考慮し、2025年5月9日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細については、本日(2025年10月31日)公表いたしました

「2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

負債合計

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54, 817	58, 361
受取手形	349	173
売掛金	14, 845	14, 390
電子記録債権	1, 417	1,750
商品及び製品	8, 469	9, 59
短期貸付金	0	
その他	766	980
貸倒引当金	Δ1	Δ:
流動資産合計	80, 665	85, 256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13, 698	13, 718
減価償却累計額	△6, 361	$\triangle 6,538$
建物及び構築物(純額)	7, 337	7, 180
土地	9, 385	9, 38
その他	2, 782	2, 78
減価償却累計額	△2, 170	$\triangle 2, 23$
その他(純額)	611	54
有形固定資産合計	17, 334	17, 109
無形固定資産	309	278
投資その他の資産		
投資有価証券	2, 404	2, 49
長期貸付金	1	
繰延税金資産	247	8
その他	1, 115	1, 12
貸倒引当金	△11	Δ1
投資その他の資産合計	3, 757	3, 69
固定資産合計	21, 401	21, 078
資産合計	102, 066	106, 33
負債の部		
流動負債		
買掛金	6, 516	6, 96
未払法人税等	1, 824	2, 05
役員賞与引当金	63	50
賞与引当金	5	3
その他	3, 458	3, 36
流動負債合計	11, 868	12, 44
固定負債		
退職給付に係る負債	587	589
資産除去債務	10	10
その他	360	333
固定負債合計	959	93

12, 827

13, 378

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4, 993	4, 993
資本剰余金	6, 531	6, 637
利益剰余金	78, 661	81, 392
自己株式	△3, 625	△3, 014
株主資本合計	86, 560	90,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476	636
繰延ヘッジ損益	27	182
為替換算調整勘定	421	395
退職給付に係る調整累計額	53	47
その他の包括利益累計額合計	980	1, 262
新株予約権	180	109
非支配株主持分	1, 517	1, 576
純資産合計	89, 239	92, 956
負債純資産合計	102, 066	106, 335

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	54, 508	58, 982
売上原価	38, 770	40, 940
売上総利益	15, 737	18, 042
販売費及び一般管理費	11, 554	11, 898
営業利益	4, 182	6, 143
営業外収益		
受取利息	33	91
受取配当金	30	33
債務勘定整理益	2	2
為替差益	1	_
助成金収入	0	23
その他	84	54
営業外収益合計	154	206
営業外費用	-	
支払利息	0	0
支払手数料	1	2
為替差損	_	20
支払補償費	5	9
その他	6	6
営業外費用合計	14	39
経常利益	4, 322	6, 311
特別利益		
関係会社株式売却益	6	2
関係会社清算益		1
特別利益合計	6	3
税金等調整前中間純利益	4, 328	6, 315
法人税、住民税及び事業税	1, 350	1, 933
法人税等調整額	12	16
法人税等合計	1, 363	1,949
中間純利益	2,965	4, 365
非支配株主に帰属する中間純利益	81	56
親会社株主に帰属する中間純利益	2, 884	4, 309
		,

(中間連結包括利益計算書)

		(1 = 1 = /414/
	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2, 965	4, 365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	159
繰延ヘッジ損益	△698	154
為替換算調整勘定	△135	$\triangle 22$
退職給付に係る調整額	$\triangle 3$	$\triangle 6$
その他の包括利益合計	△759	285
中間包括利益	2, 206	4, 650
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2, 193	4, 591
非支配株主に係る中間包括利益	12	59

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4, 328	6, 315
減価償却費	359	307
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 30$	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	$\triangle 0$
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12	$\triangle 7$
株式報酬費用	43	_
助成金収入	$\triangle 0$	$\triangle 23$
受取利息及び受取配当金	△64	△125
支払利息	0	0
支払補償費	_	9
関係会社株式売却損益(△は益)	$\triangle 6$	$\triangle 2$
関係会社清算損益(△は益)	-	Δ1
売上債権の増減額(△は増加)	206	294
棚卸資産の増減額(△は増加)	△502	△1, 122
仕入債務の増減額(△は減少)	426	447
未払消費税等の増減額(△は減少)	57	△173
その他の流動資産の増減額(△は増加)	236	△52
その他の流動負債の増減額(△は減少)	152	190
その他	5 100	0
小計	5, 196	6,046
利息及び配当金の受取額	67	96
利息の支払額	∆2	△0
法人税等の支払額	$\triangle 1,266$	△1,709
助成金の受取額	0	23
支払補償費の支払額	2,005	<u> </u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	3, 995	4, 448
投資活動によるキャッシュ・フロー		A.F. 000
定期預金の預入による支出	_	△5, 000
定期預金の払戻による収入	1,000	
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 40$	△12
有形固定資産の売却による収入 無形固定資産の取得による支出	_ △37	3 $\triangle 13$
無形固足資産の取得による文出 投資有価証券の取得による支出		
関係会社株式の取得による支出	△11 —	△11 △1
関係会社の整理による収入		160
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による		160
理論の範囲の変更を行うす去社体式の完却による 収入	180	2
貸付けによる支出	_	$\triangle 1$
貸付金の回収による収入	5	0
その他の支出	$\triangle 3$	$\triangle 7$
その他の収入	3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1, 094	△4,879

		(1 2 1 7 1 7
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△6, 600	_
ストックオプションの行使による収入	1, 024	645
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	$\triangle 0$
リース債務の返済による支出	△53	△52
配当金の支払額	△1, 365	$\triangle 1,577$
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u></u>	△985
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	△39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2, 005	$\triangle 1,455$
現金及び現金同等物の期首残高	54, 187	44, 817
現金及び現金同等物の中間期末残高	52, 181	43, 361

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会の決議に基づき付与されたストックオプションの権利行使に伴い、自己株式386,900株の処分を実施いたしました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が610百万円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が3,014百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他		調整額	中間連結損益
	開発型	卸売型	計	(注) 1	合計	神 登 領 (注) 2	計算書計上額
	ビジネスモデル	ビジネスモデル	ĦΙ	(在) 1		(任) 2	(注) 3
売上高							
顧客との契約か	29, 594	22 250	E0 0E0	1 577	E4 420		54 420
ら生じる収益		29, 594 2	23, 236	23, 258 52, 852	1, 577	54, 429	_
その他の収益	_	_	_	78	78	_	78
外部顧客への売	29, 594	92.050	E9 0E9	1 656	F4 F09		E4 E00
上高		29, 594 23, 258	52, 852	1, 656	54, 508	_	54, 508
セグメント間の							
内部売上高又は	_	_	_	4, 090	4, 090	△4, 090	_
振替高							
計	29, 594	23, 258	52, 852	5, 746	58, 598	△4, 090	54, 508
セグメント利益	2, 348	1, 906	4, 254	274	4, 529	△346	4, 182

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、PS事業及び海外子会社等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の調整額 \triangle 346百万円は、セグメント間取引の消去138百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 203百万円及びその他調整額 \triangle 282百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

報告セグメント		その他		調整額	中間連結損益		
	開発型	卸売型	計	(注) 1	合計	(注) 2	計算書計上額
	ビジネスモデル	ビジネスモデル	н -				(注) 3
売上高							
顧客との契約か	34, 126	23, 559	57, 685	1, 219	58, 904	_	58, 904
ら生じる収益	34, 120	20, 009	51,005	1, 219	30, 304		30, 304
その他の収益	_	_	_	77	77	_	77
外部顧客への売	24 196	22 550	E7 COE	1 206	E0 000		E0 000
上高	34, 126	23, 559	57, 685	1, 296	58, 982	_	58, 982
セグメント間の							
内部売上高又は	_	_	_	4, 099	4, 099	△4, 099	_
振替高							
計	34, 126	23, 559	57, 685	5, 395	63, 081	△4, 099	58, 982
セグメント利益	4, 129	1, 999	6, 129	358	6, 488	△344	6, 143

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、PS事業及び海外子会社等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の調整額 \triangle 344百万円は、セグメント間取引の消去110百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 281百万円及びその他調整額 \triangle 172百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。